

ウガンダ共和国の農村部における水・衛生環境の改善

事業分野 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業

■実施団体

特定非営利活動法人コンフロントワールド

所在地:東京都

WEBサイト:[特定非営利活動法人コンフロントワールド](#)

■事業期間

2024年5月～2025年5月

■対象国・地域

ウガンダ・ブタンバラ県

■事業目標・内容

- ①貯水タンク建設
- ②家庭用トイレ建設
- ③石鹼等の生産・配布と衛生指導

■事業実施の背景

ブタンバラ県では水道が整備されておらず、40%の人が容易に安全な水にアクセスが出来ない。

また、当該地域では50%の家庭がきちんとした設備のトイレを保有していない。野外排泄では感染症や、害虫被害、性被害等のおそれがある。

加えて、人々の衛生管理への意識不足と、医療体制の整備の遅れにより、感染症が拡大するリスクが高い。

団体のこれまでの取り組み

アフリカなどで水道やトイレが無い状況で生活する人々や、最低限の教育を受けられない人々を目の当たりにし、『不条理の無い世界の実現』を目指すため設立された。ウガンダで活動するにあたり、現地NGO(JEDOVIC)の活動実績や現地住民との信頼関係を知ったことから、2018年8月パートナーシップを締結。水・衛生環境を改善するための活動を始めた。

事業実施の工夫点・成果

・石鹼と簡易手洗い装置の配布

2024年12月時点で、液体石鹼1,883L(目標の70%)、簡易手洗い装置520個(目標の116%)の配布を完了している。

・衛生意識の向上に貢献！

衛生指導に参加した子供達が、他の子供や親に手洗いの方法や水衛生の大切さを伝えあうようになった。

